



# 平成29年度 市民と市長の意見交換会 ふれあいトーク・レポート

⑩大淀地域自治区 平成29年11月24日(金)開催

ふれあいトークは、市長が市民の皆さまと地域の課題や市政について直接意見を交わし、課題解決に向けての方向性や具体的な方策を確認することで、地域と行政の相互理解を深めるとともに、市民目線での市政運営を進めることを目的に開催しています。

## ◆平成29年度のトークテーマ

### 共通テーマ

地域魅力発信プランの推進

### 地域テーマ

「天神の森に笑顔と元気あふれるまち・・・  
おおよど」



地域魅力発信プランは、お住まいの地域の現状を把握した上で、“将来はこんな地域にしたい”という将来像を明確にして、その実現のために地域の皆さまが取り組むべきことをまとめた地域自治区ごとの計画です。これまで、各地域自治区において、プラン実現に向けたさまざまな活動が行われてい

ます。今年度は、このプランに基づく事業の展開を推し進め、これまで以上に地域の自主性・自律性を高めるまちづくりを支援するため「地域魅力発信プランの推進」をテーマに地域の皆さまと意見交換を行います。

## ◆市長から情報提供 豊かに「生きる」「暮らす」「働く」

人口減少が進む中、地域の活力を維持、向上させていくために、本市の中長期的な展望を踏まえ、「宮崎市地方創生総合戦略」を策定しました。今後は、この戦略に沿って、官民が一体となり、地域の特性やニーズにあった実効性の高い取り組みを推進し、地域経済の持続的な発展を目指していきます。

### 【5つの重点プロジェクト】

- ①クリエイティブ推進プロジェクト  
新たな雇用やビジネスを創出するとともに、多様な働き方や雇用環境の改善を促すことで、人材の定着を図っていく。
- ②IJU(移住)推進プロジェクト  
関係機関等の連携による住まいや就業等に関する相談や、移住者のフォローアップ、空き家等の流通を促進する。
- ③フードシティ推進プロジェクト  
農業の生産基盤を維持するとともに、販路や交流人口の拡大を図ることで、ブランド力を向上させていく。
- ④観光地域づくり推進プロジェクト  
広域的な観光地域づくりを推進するとともに、東京オリンピック・パラリンピックの開催等を見据え、新たなファンの獲得に向けて、総合スポーツ戦略都市みやぎきの取組を推進していく。
- ⑤地域コミュニティ活性化プロジェクト  
地域課題をビジネスの手法等を用いて解決する中で、地域の多様な主体が公共の担い手になるなど、自主的、かつ持続的に事業を進める。



▲ 宮崎市の現状や課題、現在取り組んでいる施策などについて、市長が説明

## ● 地域の現状等を共有

大淀地域自治区データ（住基人口：H29.4月現在 自治会加入率：H28.6月現在）  
人口：24,411人（対昨年比+92人） 自治会加入率：52.1%（市全体56.3%）

### 【地域の現状・課題】

- ▶ 大淀はその地名の由来とされる“大淀川”、四季彩る“天神の森”に象徴される自然に恵まれた地域である。そのほぼ中央に宮崎市民文化ホールと宮崎市立図書館が位置し、その東西には地域経済の一翼を担う商店街と自然豊かな田園地帯を有し、さらに各地区には脈々たる伝統文化が息づいている。
- ▶ 地域の人口は横ばいであるのに対し、まちの賑わいや活力を生み出す商業事業所・従業員数はともに減少傾向にある。次世代に繋がる、大淀独自のどこにも負けない活性化策が必要。
- ▶ 若い世代の転入により人口が増えているものの、古来より伝わる伝統芸能などの後継者や、まちづくりを担う新たなリーダー的人材が不足している。

## ◆ フリートーク

- ▶ 大淀地域は、市の中心街の一つでありながら、地域のつながりが深い。また、水田など自然が豊かな一方、大型商業施設や市民文化ホールもあって、住みやすいまちだと感じる。
- ▶ 天満宮夏祭りや水かけ地蔵尊祭りなど伝統的な祭りのほか、一年を通して多くの祭りが開催されるが、集客の面で発信力が弱いと感じる。
- ▶ おおよど元気だより(年4回発行)で地域の情報を発信されているが、その情報をあえて自分から取りに行くことは少ないと感じる。見なくなるような工夫や仕掛けが必要だと思う。
- ▶ 薫る坂ふれあい祭りを10月に初めて開催した。現役世代を中心に実行委員会を組織し、リタイア世代が多い自治会が後方支援をする体制をとったところ、現役世代の参加が多く大成功に終わった。その後の市民一斉清掃でも50人以上参加者が増えた。他の行事等でも若い世代を取り込めば、もっと活性化すると思う。
- ▶ 大淀地域の行事に20歳代の参加が少ないと聞いた。大学生である自分たちがその世代を引っ張っていける立場になれるといい。例えば、大学という大きなつながりの中で情報発信は容易にできるので、発信者として携わりたい。また、サークルやゼミなどのメンバーで行事に参加することも可能である。
- ▶ 大淀マチオモイ帖制作委員会(大淀地域のお宝発掘・発展・発信事業の事業者)では、各種イベントや祭りの運営主体で連絡協議会のような組織を作り、情報交換を行いながら活性化を図っていききたい。また、若い世代を取り込んでイルミネーション祭りやクリスマスイベントなどを企画していききたい。
- ▶ 独居の高齢者がたくさんいらっしゃる。ふれあいサロンなどを通じて情報共有を図り、笑顔で声を掛け合いながら、地域全体で顔の見える関係作りを行っていききたい。



### 【傍聴者を含め会場全体で意見交換】

- ▶ 大淀地域は新興住宅街が多いためか、祭りそのものを知らない。また、ある小学校区では子ども会がない。発信力を高めていくためには、イベントに小中学生や高校生を巻き込んで、その父兄を巻き込む方法が有効だと考える。
- ▶ 花山手などは他地域からの転居者が多くて地域のつながりが薄く、「向こう三軒両隣」のつき合いは難しいのかなと感じている。自治会の充実なくして絆を深めていくことはできない。自治会の加入率が低下する中、特に若い世代に対して自治会をどうPRしていくのか、大淀なりに真剣に取り組んでいきたい。

## ● 市長から回答、感想

- ▶ 恵比寿神社大祭の獅子舞は躍動感があって魅力がある。大淀の魅力として、もっと多くの人にアピールするためのアイデアを出していく必要があると思う。
- ▶ 大淀地域には、宮交シティなどの大型商業施設、多くの商店街がある。中央西地域では独自のカードを作成して、地域の商店と連携しながらカードを活用した来店ポイント等を検討することで地域活動への参加促進を図ろうとしている。大淀地域でも同様の取り組みができると思う。
- ▶ 人口減少社会を迎えようとする中、これまで地域で培われたものを連携させながら、少しでも人口が減少しないよう、今活動を始めるべきだと常に申し上げている。大淀地域から発信力をもっていただき、子どもから高齢者まで、しっかりと情報ネットワークを築いていただければありがたいと思う。

～参加者アンケートより～

- ★大学生など若い世代がイベントの実行委員等に加わってくれたら、面白いことが起こりそうな予感がする。
- ★各団体との話し合いをもちながら、まちづくり推進委員会としてどう取り組んでいくかが重要だと考える。

〈お問い合わせ〉

宮崎市 秘書課広報広聴室  
TEL 21-1705  
FAX 21-1909

宮崎市 大淀地域事務所  
TEL 50-1111  
FAX 63-5730

